



ブルトン・デュ・ジャポン協会

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-10-5

スぺーシア日本橋 1103

電話・FAX : 03-3249-2733

contact@bretonsdujapon.com

www.bretonsdujapon.com

2011年7月4日

## プレスリリース

### ◆◆ 東北復興支援チャリティ・コンサート ◆◆

## ノルウェン・コルベル with イージーTaku & みーVo

主催：ブルトン・デュ・ジャポン協会

7月18日(祝) 17時30分開場～22時 恵比寿 What the Dickens ? にて

入場料：ブルトン・デュ・ジャポン会員および前払い2000円、非会員2500円

東日本大震災で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

ブルトン・デュ・ジャポン協会は、毎年、ブルターニュの守護聖人である聖イヴの祝日（5月19日）の頃、「ブルターニュ祭」を東京で開催しています。今年は時期を7月にうつし、ブルターニュの女性ロック歌手のノルウェン・コルベルを迎えて、東北復興支援チャリティとしてコンサートを行います。



フランス北西部ブルターニュ地方は、三方を大西洋に囲まれ海とは切っても切れない関係にあり、昔から漁業もさかんに行われてきました。豊かな恵みをもたらしてくれる海。美しい風景を目当てにフランス全土から人々がバカンスにやって来るとともに、ひとたび嵐ともなれば、荒々しく変貌する海に翻弄されてきた土地でもあります。

その地理から、そして人々の勤勉実直な気質から、東北地方と比べられることもよくあるブルターニュ。首都レンヌ市が仙台市と姉妹都市になってから、40年以上が経ちます。

今年のブルターニュ祭では、今まで気づかれることのなかったブルターニュと日本のつながりや共通点、そしてブルターニュの人々の連帯の気持ちを日本の皆さんにお届けするため、ブルターニュそして東北よりアーティストを招待して、海の日にはチャリティ・コンサートを開催いたします。

コンサート・チケットの売り上げは、岩手・宮城・福島の漁業支援のために寄付されます。コンサートに平行して、ブルターニュの特産品を販売し、その収益も同様に漁業支援のために寄付されます。また賞品が当たるくじ引きも行います。

\* 予約優先。ご予約・お問い合わせは [eventsBDJ@gmail.com](mailto:eventsBDJ@gmail.com) まで。

\* 当日、白黒か白青のマリンボーダー柄シャツかワンピース着用の方は入場料2000円。

What the Dickens ? : 東京都渋谷区恵比寿西 1-13-3 ループ6ビル4F

## ノルウェン・コルベル

これが初来日となるノルウェン・コルベルは、シンガーとして、そして女優としても活躍。今でもケルト文化が色濃く残り息づくブルターニュ地方フィニステール県カンペール出身。ブルトン語やフランス語はもとより、英語、ウェールズ語でも歌う稀有なシンガーで、聴衆を魅了するカリスマ的なパフォーマンスで知られる。

震災や原発事故のため多くの外国人が訪日をキャンセルする中、彼女の来日の意思は揺るがなかった。

1997年 Kan ar Bobl 音楽コンクール優勝、2003年テレビ局 France 3 最優秀 CD、2004年ブルターニュ製品に与えられるラベル《Produit en Bretagne》グランプリおよびブルトン語 Imram 賞

ディスコグラフィ：《N'eo ket echu》(2003), 《Bemdez c'houloù》(2006), 《Red》(2007), 《Noazh》(2010), <http://www.myspace.com/nolwennkorbell>



### 共演

**イージーTaku**：若き頃、放浪の果てに金沢にて靴を脱ぐ。地震やチャリティなどの支援イベントにも積極的に参加。熱い魂で突っ走る。

**みーVo**：シンガーソングライター&サーファー。世界へのメッセージ・ソングを歌いながら原発から避難&放浪ライブ中!!

## ブルターニュ地方



ブルターニュ地方はフランスの北西部に位置し、独自の古い歴史と伝説を持つ。巨石文化や自然崇拝のケルト民族が祖先で、その歴史は紀元前5千年までさかのぼる。1532年にフランス王国に併合されるまでは独立した公国であった。ブルターニュの人々は「フランス人である前にブルトン人である」と言うほど故郷ブルターニュを愛し誇りに思っている。彼らは独自の言語（ブルトン語）や歴史と宗教に基づいた独特の文化を大切にしている。伝統的な祭りが盛んで、夏になるとブルターニュの各地で開催される。

## ブルターニュ祭（聖イヴの祝日 5月19日）

ブルターニュでは10年前からこの地方の守護聖人である聖イヴの祭日にお祭りが行われてきた。創造的で連帯を大切にするブルターニュの人々が、自分たちの故郷を知り理解してもらうため、ブルターニュ各地はもちろんニューヨークや東京でもコンサート、展覧会、演劇、講演会、ピクニックなど200以上のイベントを行っている。アイルランドに聖パトリックがいるように、ブルターニュには聖イヴがいるのである。



## ブルトン・デュ・ジャポン協会

ブルトン・デュ・ジャポン協会はブルターニュ地方と日本の緊密な交流を目的としています。本協会はブルターニュ地方と日本の、とりわけ文化と経済の発展に貢献することを目的に設立されました。

HP: [www.bretonsdujapon.com](http://www.bretonsdujapon.com)

メール: [contact@bretonsdujapon.com](mailto:contact@bretonsdujapon.com)



## 『国際交流における市民の役割』講演と討論

主催：ブルトン・デュ・ジャポン協会

横須賀市、横須賀国際交流協会

2011年7月16日（土）14時～16時30分

神奈川県立保健福祉大学講堂

2010年に40周年を迎えたブレストと横須賀の姉妹都市。ブレスト市姉妹都市および国際連帯担当副市長レザ・サラミ氏が、1865年以來、関係を築いてきたこのふたつの港湾都市の歴史を振り返り、国際交流において、年々高まっている民間団体の役割について分析する。



3月11日の震災のあと、多くの外国人や海外の市民団体が被災者のために支援活動を行ったことに、日本人は少なからず驚かされた。国際連帯において市民が担う役割とはどのようなものなのか。また今後どのようにあるべきなのか。

サラミ氏の講演を受け、姉妹都市を専門に研究を重ねてきた財団法人日本国際交流センター・チーフ・プログラム・オフィサー毛受敏浩氏と、多文化共生について詳しい横須賀市国際交流課長松本義弘氏が、日本における姉妹都市交流の歴史、活動、今後、そして今回のような非常時における外国市民からの支援について考える。

**\* 入場無料、先着順**



神奈川県横須賀市平成町 1-10-1